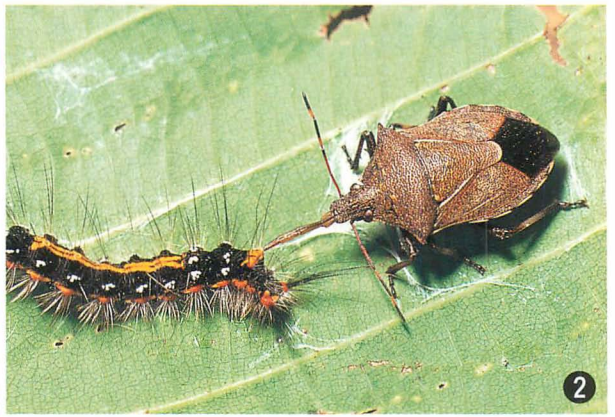


研究者のための昆虫写真の写し方(1)

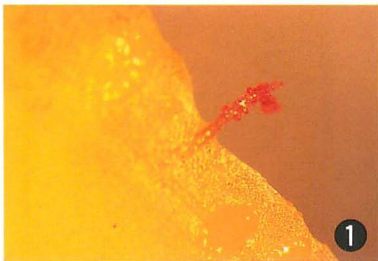
(田辺秀男氏原図、本文33ページ参照)



- ① 集団で越冬するナミテントウ (撮影倍率 1/2X、ニコンFE、マイクロニッコール 55 mm F3.5、f16、1/125 ストロボ、コダクローム25、札幌市、1981. 4. 26)
- ② ガの幼虫を捕らえたクチブトカメムシ (撮影倍率 1X、ニコマートFT、マイクロニッコール 55 mm F3.5、f16、1/125 ストロボ、コダクローム25、北海道江別市、1976. 10. 3)
- ③ 産卵するヤマトイソユスリカ (撮影倍率 2X、ニコンFE、GNニッコール 45 mm F2.8、f11、1/125 ストロボ、コダクローム64、小樽市、1984. 3. 20)
- ④ エゾクシケアリ (撮影倍率 4X、ニコマートFT、ニッコール 28 mm F3.5 逆付、f11-16、1/125 ストロボ、コダクローム25、札幌市、1973. 9. 9)

1996年の果樹カメムシ類の多発生に伴うカンキツの被害

(本文13ページ参照)



- ① 果実に残った口針鞘
- ② 果実のケロイド症状
- ③ 吸汁痕の微小なくぼみ
- ④ カメムシ類の吸汁により皮がむきにくくなった箇所 (褐変した部分)
- ⑤ ゆず肌状の果実
- ⑥ カメムシ類の吸汁による落葉 (夏秋道俊氏原図)

(No. 6 以外は井手洋一氏原図)